

会員室

共感ネットワーク拡大委員会

委員長／紀國 隆介 副委員長／佐藤 雄亮 委員会幹事／島津 悠
委員／飯田 稔 岩崎 一生 内海 愛華 塩谷 英和 河村 悦郎 金村 秀一
中根 拓也 佐藤 幸信 三浦 裕太

委員長 紀國 隆介

- 1 2017年度共感ネットワーク拡大委員会は、メンバーが青年会議所の存在意義を認識
2 して率先的に行動し、運動の共感をしてもらえる仲間を一人でも増やし、より力強い組織
3 となり、LOMの進化から地域に求められ続ける団体を目指して活動してまいりました。
4 まずは、力強い活動を行っていくうえで重要な会員拡大ですが、目標人数には届きませ
5 んでしたが、我々の活動に共感していただいた12名の新たな仲間たちを迎え入れること
6 ができたのは委員会の力だけではなくメンバー皆様のご協力があったからこそだと感じて
7 おります。そして、新入会員3分間スピーチにおいては、本年はその場でテーマに沿った
8 スピーチをしていただき、人前に立ち限られた時間内に内容をまとめ伝える経験をするこ
9 とで自己成長に努める契機となる場となり個々の成長を感じることができました。さらに、
10 新入会員を対象にオリエンテーションを2回行い、例年より短い時間で構成しましたが、
11 新入会員にJCの目的や培われた歴史、今年度の活動内容を理解していただき、工夫とし
12 てプレゼンや講話だけではなくJCの生活で必須であるパソコンを用いて自らが調べなが
13 ら学べるプログラムを行うことで参加者に飽きさせず凝縮した内容で基礎を学んでいただ
14 き、その後の委員会や各例会に積極的に参加している姿から、事業目的の活動意欲が高ま
15 ったことを実感しております。また、スポーツ大会においては、例会タイトルの「今こそ
16 結束力を！～主役になるのはオレたちだ！～」を念頭に委員会メンバー一丸となり運営を
17 させていただきました。当日参加した一人ひとりが主役となり、メンバーが同じ目標へ向
18 かって結束することで総合3位になりました。LOMPRでは新入会員が中心となって精
19 力的に取り組み、新入会員、メンバー、協力いただいた先輩メンバーたちと準備や練習の
20 中で絆が深まり、最優秀賞の結果を得て、新入会員にはこの経験を糧に今後の活動につな
21 げていくことを期待しています。そして、本年度主管を務めたワッショイはこだてを函館
22 青色申告会青年部と公益社団法人函館法人会青年部会とともに参加しました。山車制作準
23 備から本番まで他団体と創り上げ、パレード時にはお揃いのイカのお面を全員で着用し、
24 他団体やメンバー間の絆が深まることで今後の活動意欲向上につながりました。さらに、
25 本年度を締めくくる12月例会においては卒業生にこれまでのJC活動の様々な経験から
26 くる想いをメンバーに伝え、次の新たなステージに向け激励し、現役メンバーは感謝を
27 伝えるとともに次年度の活動につながる一歩となったと感じました。
- 28 今年度初理事で初委員長をやらせていただき、委員会メンバーや新入会員をまとめる難
29 しさを感じるとともに、JC生活で初めての感動も知り、拡大委員会ならではの楽しさを
30 味わいながら活動し、メンバーの皆様のご協力があったからこそ全うすることができたこ
31 とを感謝申し上げます。